



「低学年から家庭での学習を習慣付けることが大切」と語る沼田英雄教育

身に付けさせたい 家庭学習の習慣化

「学ぶ楽しさ」を最優先に低学年の基礎学力の定着と学習の習慣付けを目的に始まったサタデー・スクール。休みの日の土曜日に地域の人が講師を務めるという斬新な企画も盛り込んでいます。ゆとりの中で生きる力をはぐくむために始まった完全学校週5日制。あえて土曜日に学習させる。今なぜ、それが必要なのか。沼田英雄教育長にお話しを伺いました。

子どもたちの学力が伸びない原因

一昨年から児童生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を行う「学力向上プロジェクトアスクール」研究指定を普代村内の学校も受け、先生方の授業研究にもこれまで以上に熱が入ってきております。村内はもちろん、久慈管内の小中学校の研究会の様子か

ら、先生方の授業方法・指導技術改善の向上には顕著なものがあります。

一方、家庭学習の面では、今一步の努力が必要ではないかと感じています。

つまり、学校でいくら児童生徒の学力向上のため指導方法・指導技術の改善を工夫しても、子どもたちの学力が伸びない原因は、何であるかに焦点を当てますと、家庭学習の習慣化に一つの原因があるのではないかと察せられます。

本村の児童生徒の学習量を調査しますと、学年が進行するにしたがい家庭学習時間の減少が見られるということです。

勉強は必要と思っても テレビ漬け

ある調査によりますと、小学生の5割、中学生の6〜7割が勉強しなければならぬと思いつても、テレビ漬けや夜更かしなどで、勉強に手が付けられないということです。

この現象の解決なしでは、子どもたちの学力向上には到底たどり着かないということでありませう。

家庭での学習の目安は 中学生で最低1時間

村内各小学校の先生方の指導力には、大変素晴らしいものがあります。校内研修が熱心に行われ、お互い授業を見せ合い、そして地域の方々にも授業を公開し、研鑽に励んでいます。わたしが強調したいのは、家庭学習時間を、最低小学生では20〜40分を、中学生では1時間を目標に取り組ませてはと思います。

普代の子どもたちに 進路選択の幅を

本村の教育振興運動の目標を今までは、どちらかといえば健全育成に力点を置くことが多かったと思えます。これからは、これらに加えて、学力向上も目指し、家庭学習の習慣化についての輪の広がりに期待するものです。

高校再編計画では、高校の改廃が具体化されてきています。なんとか普代の子どもたちも、一人でも多く自分の進路決定の幅を少しでも広く持つことができるようにするために、みんなで協力し合いたいものです。